

平成30年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施及び評価結果

No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	地域住民(三世代交流)で作る活性化事業	199千円	平成28年度(3年目)	a	a	a	b	a	A
	大門地域振興会	(399千円)							

事業概要	担当課としての所感
<p>平成27年度までにハード整備した多目的広場をソフト事業で活用していく。</p> <p>①三世代交流の活性化による健康意識の向上 ②地域住民の癒しの広場・各種団体との共同イベント ③防災・避難の拠点 ④新湊庄川線沿いの景観美化</p>	<p>各種イベントの開催を通して、地域振興に一定程度は寄与したものと考えられる。</p> <p>今後も三世代交流行事として事業を継続する場合は、単に子どもたちがイベントに参加するだけにならないよう、地域ぐるみでの子育て支援や、多世代での防災広場の花壇整備など、継続的に世代間交流を図りながら地域の連帯感を強化していけるような事業展開を求めたい。</p>



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	青少年育成事業を中心とした三世代及び地域の交流	200千円	平成28年度(3年目)	a	a	a	a	a	A
	片口地域振興会	(400千円)							

事業概要	担当課としての所感
<p>地域の将来を担う子どもたちに健全育成を図り、笑顔あふれる活力ある地域づくりを推進していく。</p> <p>①将来を担う子どもの心身の育成 ②世代間交流の推進 ③地域コミュニティの形成</p>	<p>地域振興会を構成する団体が連携し、各ブースをそれぞれに担当した「子どもフェスティバル」を開催するなど、地域ぐるみで地域の子どもたちを育て、地域の交流を深めるという事業目的に沿った事業が行われたと考えられる。参加者が伸び悩んだといった課題も見られたが、今後は地域の独自事業として工夫しながら、安全・安心なまちづくりや青少年健全育成に効果的につなげていきたい。</p>



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	たけのこふれあい事業	200千円	平成28年度(3年目)	a	a	a	a	a	A
	黒河地域振興会	(415千円)							
事業概要				担当課としての所感					
<p>黒河地区特産の「たけのこ」「竹林」をキーワードにまちづくり事業を行う。たけのこを掘り、たけのこを食べ、竹林について語り、荒廃した竹林の整備、竹の利用について語り、ふれあい事業を通じて地区を活性化させる。</p>				<p>市の関与がなくても、黒河地域の名物イベントとして市内外からの来訪者で賑わうようになっており、地域の活性化につながっていたと思われる。今後も「たけのこ」「竹」をキーワードとした地域の独自事業として継続されるものと思うが、たけのこの確保や事業に協力する担い手の育成などの課題解決に努めながら、ますます事業が発展していくことを期待したい。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	ふるさとの歴史文化の再発見事業	200千円	平成29年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	塚原地域振興会	(301千円)							
事業概要				担当課としての所感					
<p>「塚原地域歴史年表」の配布から、さらに事業を発展させるため、「ふるさとの歴史文化の啓発事業」として、全国的に著名な外部講師を招聘して講演会を開催し、地域住民が歴史文化を学び、未来の地域づくりを考える一助とする。</p>				<p>錦帯橋の架橋工事に棟梁として携わった海老崎桑次氏を講師として招き、講演会と塚原小学校での出前授業を実施したが、住民が文化や技術の伝承について学ぶ良い機会となった。「歴史・文化」を地域振興につなげるためには、歴史・文化に興味を持った住民がより深く学ぶという「インプット」だけでなく、その学びの成果を地域に還元できる「アウトプット」の仕組みを構築する必要があるため、今後工夫を求めたい。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	黒河地区竹林環境整備事業	200千円	平成30年度(1年目)	a	b	a	a	a	A
	黒河地域振興会	(245千円)							
事業概要				担当課としての所感					
<p>竹林地の荒廃が懸念されている中、遊歩道の設置をはじめとした環境整備に地域全体で取り組み、竹林を活用した地域住民交流の場づくりを行い、地域の活性化を推進していく。 また、竹林管理の後継者育成にもつなげていく。</p>				<p>竹の伐採や根切りなどの作業を実施し、荒廃した竹林の整備が進み、歩道が着実にできてきている。 まだ遊歩道として活用できる状況にはないが、今後も地域ぐるみで整備を進め、イベントの実施といった地域のにぎわいづくりにつなげられるよう期待したい。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	南太閤山地域振興会設立10周年記念事業	200千円	平成30年度(1年目)	b	a	a	a	b	B
	南太閤山地域振興会	(733千円)							
事業概要				担当課としての所感					
<p>地域振興会設立10周年の機会に、住民全体が地域の歴史を知り、未来へ向けての活性化を図るとともに、住民の絆を深め、高齢者への敬意と子ども達の笑顔あふれる地域づくりを推進するため、記念誌の発行をはじめとした様々な記念事業を行う。</p>				<p>小中学生とのトークショー、文化祭、もちつき大会など、住民同士の絆を深める記念事業となった。また、記念事業の一環として発刊した記念誌の作成に多くの地域住民に関わってもらったなど、事業効果を高める工夫もされており、地域住民が10周年の節目に自らの地域について考える良い契機となったと考えられる。</p>					

